

永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
 令和2年7月発行・第159号
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園
 TEL:0952-31-6877

7月の生活目標

- ・遊んだ後は、みんなで片付ける
- ・自分のことは一人でやってみよう。

今月から始まった支援では、紫陽花の花に触れたり、水遊び、遊具遊びをしたりして楽しみました。感染症対策にご協力いただき、楽しく・安全に過ごすことができました(*´▽`*)。

「せんせい、きて～！みて！みて！」

臨時休業が解除され、平常の保育が始まってひと月が経ちました。この間の子ども達の大半が外遊びを満喫していました。「色水遊び、砂場・水遊び、エイゴ鬼、サッカー、アスレチック、フラフープ、鉄棒、一輪車、キックボード・・・」

園庭に出てきた子どもたちは体をいっぱい使って、夢中で遊びこむ姿に、家庭の中で行動を制限されていた日々の足りなかつたものが理解できた気がしました。

そんな子どもたちの姿を観察しながら園庭をうろうろしていると、あちらこちらから、「先生きて～！」(中には手を引いて連れていかれる場面もありました。) \ (^o^)/

「みて！みて！逆上がりができるよ。」「上り棒のてっぺんに届いたよ」、「フラフープ回せるから数えて～！」等々、できたことを認めてもらいたくて、うずうず感でいっぱいでした。先生や友達がいつも身近にいてその場を分かち合える環境に戻って、やる気満々の子どもたちです。

ある調査では、週末の子どもたちは1日に3000歩歩かない子もいるそうです。座った生活が多くなった子どもは自分の体の使い方が十分にできない傾向にあるので、自分の好きな遊びを通して、多様な動きを経験してほしいと思います。

(三光保育園園長)

6/3 赤ちゃんの日



6/8 1歳の日



6/15 2歳の日



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き、楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながらおしゃべりをしませんか？二日に分けて行います。奮ってご参加下さい。

日時：7月29日(水) 10時から11時

7月30日(木) 10時から11時

8月27日(木)・8月28日(金)

食育講座のお知らせ

親子クッキング教室を行います。日時・内容は下記の通りです。三光保育園の方へお申込みください。

対象年齢は、5歳(年長児)(※兄弟児は、満3歳以上のみ受け付けます。)両日とも先着5組とさせていただきます。

日時：① 8月6日(木)・② 8月7日(金)

時間：10:00～13:00

内容：「栄養たっぷりメニューとお楽しみデザート」

※7月10日(金)より、申込書を配布します。三光保育園に取りに来てください。

※育児・食育相談もうけつけていますので、お気軽にお電話で事前にお申し込みください。

7月・8月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・7月 3日(金) 10:30～11:30 ...赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・7月 9日(木) 10:30～11:30 ...1歳児の日
- ・7月 16日(木) 10:30～11:30 ...2・3歳児の日
- ・8月 20日(木) 10:30～11:30 ...赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・8月 24日(月) 10:30～11:30 ...1歳児の日
- ・8月 25日(火) 10:30～11:30 ...2・3歳児の日

開催場所：三光幼稚園・保育園の運動場

※電話でお申し込みください。先着10人です。

※雨天時は、中止です。

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

1歳と2・3歳の日は、参加できます。

※詳しくは、ホームページを必ずご覧ください。

7月・8月の「フリーデー」について

保育園の支援センターを下記の日程で開放します。

日時：7月20日(月)・21日(火)
 8月17日(月)・19日(水) } 10:30～11:30

★新型コロナウイルス感染症の状況により、計画の変更が予想されるため、出かける前に必ずホームページで確認してください。事前の予約は、いりません。

子育て便り 寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

「子どもにとっての遊びとは」

西九州大学短期大学部 幼児保育学科 講師 大村綾

みなさんは「遊び」と聞いた時、どのような場面や時間をイメージされるでしょうか。学生に、「みんなにとっての遊びってどんな時間？」と聞くと、「授業がない日に友達と自由に過ごす時間」、「授業やアルバイトの合間の自由な時間」など、その多くが授業や部活、アルバイトや家庭の手伝いなどが無い自由に過ごせる時間、という反応です。学生たちはこの「遊び」の時間をうまく取り入れることで、気分転換やリフレッシュ、そして翌日以降の活力を得ているようです。では、子ども（特に乳幼児）にとって「遊び」とはどのような意味をもつのでしょうか。

子どもたちは、遊ぶことを通して「やってみよう！」、「やってみよう！」、「できるようにになりたい！」、「知りたい！」、「分かってみたい！」という好奇心を抱きます。そして、挑戦したり工夫をしながら、その好奇心を満たしていきます。この時、遊びは子どもの好奇心に基づく自発的な行為になるので、興味や探索心を高め、知的な発達にもつながるでしょう。

また、遊びを通して人間関係を築く上で大切なことも経験していきます。鬼ごっこやかくれんぼ、氷鬼など子どもたちが大好きな遊びにはルールがあります。しかし、そのルールを守らなければ、楽しく遊ぶことができません。友達との遊びを通して、ルールを守ることや、順番を守ることの大切さに気付いていきます。相手を思いやる心や折り合いをつける経験、譲り合いや我慢する気持ちも、遊びを通して獲得されていきます。

さらに、遊びを通して時には失敗も経験するでしょう。しかし、その失敗の経験は、次へ挑戦する力や解決策を考える力、そして自ら試練を乗り越える力を得るチャンスにもなります。その経験の過程では、自らあるいは友達と一緒に工夫したり、試行錯誤を重ね、やがて新たな遊びの発見や気づきにつながります。その他、遊びの中で数や文字に関心を持ち、時間や距離の感覚を知っていくこともあるでしょう。つまり、子どもにとって遊びは学びそのものであり、子どもは遊びを通して多くのことを学んでいくのです。そして、遊びは大人になってから求められる、さまざまな能力とつながっているとも言えるのではないのでしょうか。

大人が子どもたちの遊んでいる姿を見守る時、喧嘩がおきないように、迷惑がかからないように、あるいは汚れないように…、など、遊びの本質以外の部分に目が行きがちです。また、つい大人が先回りをして、子どもの発想や気づきの機会を奪ってしまうことがあるかもしれません。

大人の目を気にせずにのびのびと遊ぶ時のワクワク感、時間を気にせずに思い切り遊ぶ時の生き生きとした姿は、何ものにも代えがたい子どもの輝いている姿です。そんな子どもの姿をしっかり受け止め、毎日の子どもとの遊びを親子で楽しんでください。

